

## 2月10日：建設、不動産銘柄が買われ、VN指数は5日続伸

建設、不動産銘柄が買われ、VN指数は続伸した。

ホーチミン市場のVN指数は0.09%高の1,506.79ポイントで取引を終えた。

同指数は前日0.29%高の1,505.38ポイントで引けていた。

騰落別では226銘柄が下落、209銘柄が上昇、64銘柄は変わらずだった。

売買高は約6億8,030万株で、売買代金は22兆ドン（9億7,000万米ドル）となった。

建設セクターは午後に堅調な値動きとなった。第18コマ建設（CIG）、ダットフオン建設（DPG）、ミエンドン建設（MDG）、郵便電信投資建設（PTC）、ルイスキャピタル（TGG）は特に株価の上昇が目立った。

住宅関連セクターはまちまちな値動きとなった。CEOグループ（CEO）、DIC不動産（DIG）、ロンザン都市開発投資（LGL）、ホーチミン市投資開発（FDC）、NBB不動産（NBB）、IDJ投資（IDJ）はそれぞれ買われ、マーケット全体を支えた。

その一方でビングループ（VIC）、ビンホームズ（VHM）、ノバランド不動産投資グループ（NVL）、ダットサイングループ（DXG）、ナムロン投資（NLG）、カンディエン不動産（KDH）、ファットダット不動産開発（PDR）は売られた。

ここ2日上昇していた鉄鋼セクターは投資家の利益確定売りに押された。ホアファットグループ（HPG）、ホアセングループ（HSG）は大きく売られ、安値引けとなった。ホアファットグループ（HPG）は外国人投資家も大きく売り越した。その一方でナムキム鉄鋼（NKG）、ベトイ鉄鋼（VIS）、他の小型の鉄鋼株は株価の上昇を保った。

セクター別では全25業種のうち、卸売、IT、小売、ヘルスケア、農業、ゴム製品、食品飲料、水産加工、建設資材を含む18業種が上昇した。

その一方で値下がり業種には保険、不動産、証券、建設、物流が含まれた。

VN30指数は0.22%安の1,548.95ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、11銘柄が上昇、16銘柄が下落した。

ハノイ市場のHNX指数は0.95%高の428.24ポイントで取引を終えた。

同指数は前日1.51%高の424.19ポイントで引けていた。

売買高は5,530万株を超え、売買代金は1兆7,000億ドンとなった。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。